

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	観光名所（職員）	・国際線が増便となることから、インバウンドの増加が見込める。
	○	商店街（代表者）	・クルーズ船の寄港増加や気温の上昇に伴い、人通りは多くなるとみている。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・外出機会が多くなるが、体調も崩しやすい時期でもあることから、そうした需要に伴う来店が増えると思われている。
	○	一般小売店〔スポーツ用品〕（店員）	・本格的なゴルフシーズンとなるため通常であれば良くなると思うのだが、物価高や原油価格高騰の影響がどう出てくるかが見通せない。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	・自ずと物価高に慣れ始めたところに今回のエネルギーショックが発生したが、以前と比べ財布のひもは緩くなっている。
	○	百貨店（営業担当）	・天候が良くなるため来客数の増加が期待できる。
	○	百貨店（経営者）	・食料品は値上がりしているものの動きが良い。来客数も大きく伸長しており、販売のチャンスは大いにあるとみている。
	○	スーパー（店長）	・自治体の物価高対策の効果による売上増加を見込んでいる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・気温の上昇に伴い、来客数の増加や冷たい商材の販売拡大が見込まれる。
	○	家電量販店（従業員）	・エアコンの2027年問題を前に駆け込み需要が増えると思われている。また、今年も夏は暑くなるとみられることから需要の前倒しによる増加が見込まれる。また、6月にはサッカーワールドカップが開催されるため、テレビなどの放送受信機の動きも活発になるとみられる。景気はやや良くなるとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・物価高に慣れてきているようにも見える。今より安くはならないという状況が続いているため、車検やタイヤ買換えのタイミングで販売量は増加するとみている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新年度税制により客は買換えに前向きになると予想され、販売数が増えると思われている。
	○	旅行代理店（従業員）	・4～9月に社全体で東北を売出すキャンペーンを実施する予定である。
	○	通信会社（経営者）	・5月からサービスエリアを拡張するため、テレビサービスの新規加入者数の増加が期待できる。学生向けの集合住宅が多いエリアであり、通信サービスについてはアパートへのインターネット一括導入が見込める。
	○	テーマパーク（職員）	・3～4月は春休み、5月はゴールデンウィークがあり、学生や3世代家族の利用が見込まれる。
	○	観光名所（職員）	・観光客からの予約が少し埋まり始めている。
	○	競艇場（職員）	・ゴールデンウィークに来場促進イベントを行う予定である。新規客を獲得し売上増加に結び付けたい。その先はリピーターの増加による売上拡大を見込んでいる。
	□	商店街（代表者）	・原油価格高騰の影響により物価高は続くため、景気は変わらないとみている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・原油市場の不安定化が続くことにより、今後も物価上昇が進むと予想される。また、商品の仕入れ自体が困難になることも予想され、急激な需要の高まりが起こることも考えられる。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・売上低迷が続くとみている。
□	百貨店（企画担当）	・婦人、紳士の衣料品が引き続き厳しく、全体売上のマイナス傾向は変わらないとみている。	
□	百貨店（経営者）	・気候が良くなるため、特にファッション分野の消費の活性化に期待している。一方で、ガソリン価格を始めとする物価上昇の先行きが不透明であることから、生活防衛意識が強まり、消費行動が減退することも考えられる。	
□	スーパー（店長）	・最低賃金は引上げられたが、物価高と燃料費の高騰により、景気回復は期待できない。	
□	スーパー（店長）	・今月の動向からみても見通しは悪い。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（店舗運営）	・4月以降は食料品以外でも相当数の値上げが見込まれるため、買い控えが続くとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・コンビニの景気は、本部施策の当たり外れの影響を大きく受ける。良くなることを期待したいが変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・値上げによる来客数の減少、経費の増加、廃棄過多など悪い要素しかない。加盟店の利益は下がり続けている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来客数の増加傾向は続くとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・気温上昇や季節トレンドによる来客数の増加は見込めるが、外的環境の変化による好転は期待できない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・中東情勢の影響により原油価格が高騰しているため、仕入価格が上がることを懸念している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・夏物が本格的に動き出す時期になるが、売上が大きく改善する要因は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・更なる物価上昇により、個人消費の停滞は続くとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・原油の供給や物価の動きに明るい見通しがみえてこない限り、消費者の慎重な購買行動は続くとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・地政学的要因により景気が不安定となるなか、メンズビジネス需要はレディースに比べて、買い控えの傾向がこれまで以上に強まっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車の発売効果が多少は続くが、今後新たな発売予定はないため、販売量は現在と同程度とみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・決算期にもかかわらず受注できる車種が減っているため、数か月後に販売できる車がない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・客からはガソリン価格に対する不安の声を聞く。販売台数は12月から良くなってきているものの、この状況が3か月先まで続くかは分からない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（経営者）	・中東情勢の影響が見通せない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・中東情勢の沈静化が前提となるが、その後も従来の状況に戻るまでに時間を要するため、当面は厳しい状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・予約も伸び悩んでいる。外食控えが定着している状況は当面続くとみている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・景気が回復するような施策はない。世界情勢に客が振り回されなければよい。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	・6～7月は全体的に動きのない時期だが、当地で多くの人が集まるイベントの開催が予定されているため期待している。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（支配人）	・インバウンドの先行予約が鈍化傾向にある。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・景気判断ができる状況にない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・見込み案件は例年並みの推移となっている。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・予約数、振り客数、来客数、レジ通過客数、客単価、いずれも微増が続いている。特別なことがない限りこの状況は続くとみている。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・現状を維持したいが、国際情勢や原油価格、株価、金利など懸念材料は多い。売上水準をどこまで維持できるかが分かれ目になるとみている。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・受注計画は予定どおり進んでおり、数か月先も変わらない。ただし、建設費の高騰に伴い発注意欲が低下しているため、長いスパンで見れば建設業全体の景気は悪くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・今夏の猛暑に備え、エアコンの早期交換や断熱リフォームの問い合わせが増えるかとみている。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・消費はかなり停滞しており、特に高額消費の客は少なくなっている。世界情勢が不安定な状態が続き、景気は悪くなるとみている。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・世界的に不安感が広がっており、この先、生活に影響が出ることが懸念される。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・物価高が止まらない。

▲	一般小売店 [医薬品] (経営者)	・当地では3月20日からタクシー料金が値上げされ、運転手からは20日以降は利用者が減少したとの話を多く聞く。各方面で値上げが続いていることから、景気は悪くなるとみている。
▲	一般小売店 [酒] (経営者)	・中東情勢の緊迫化による原油価格高騰の影響が出ており、不透明な先行きに不安しかない。この状況が長引けば、燃料費だけでなく食料品や日用品等の生活必需品への支出増加が家計を一段と圧迫する。結果、購買力の低下や個人消費の冷え込みなど経済にマイナスの影響が出てくることが懸念される。
▲	百貨店 (従業員)	・物価高が続くなか、原油価格の高騰などもあり、先行きは不透明な状況にある。生活防衛意識が高まり、買い控えが一層強まることが予想される。
▲	スーパー (経営者)	・中東情勢の影響による原油・エネルギー不足の長期化が危惧される。原油価格高騰、円安、株価の低迷、金利の上昇も懸念されるため、消費マインドには非常に良くない影響が出る。消費は非常時備蓄品等に動きがあるかもしれないが、節約志向が強まることを懸念している。消費回復に時間を要する。
▲	スーパー (店長)	・ガソリンも商品も値上げが続いているため、消費は上向かないとみている。
▲	スーパー (店長)	・中東情勢が不安定で先行きが見通せない。
▲	スーパー (商品担当)	・物価上昇は続いているものの、中東情勢によって急激な価格上昇が生じれば、買い控えが一段と強まることが懸念される。
▲	コンビニ (経営者)	・商品が値上がり傾向にあるなか、客単価が低下している。また、買上点数も減少傾向にある。
▲	コンビニ (経営者)	・石油製品やエネルギー価格が大分高くなっている。3か月後には更なる物価上昇が見込まれ、景気はかなり落ち込むと予想している。
▲	コンビニ (経営者)	・来客数は微減傾向にあり、販売量は横ばいか微減で推移するとみている。商品価格の上昇も続いており、買い控えの動きも見受けられる。
▲	コンビニ (エリア担当)	・ガソリン価格や電気料金など生活コストの大幅な上昇が見込まれることから、買い控えが生じるとみている。
▲	コンビニ (店長)	・販売価格の改定が余りにも多い。
▲	コンビニ (店長)	・今月は来客数が増加したものの、今後も続くかは見当が付かず、先行きは不安しかない。
▲	衣料品専門店 (総務担当)	・賃上げと所得環境改善により景気は回復基調にあるといわれているが、物価高が続くことが予想され、景気が良くなることはないともみている。
▲	家電量販店 (従業員)	・中東情勢の影響が懸念される。夏前のエアコン購入需要は、早めに動き出すとみている。
▲	乗用車販売店 (店長)	・新年度税制は業界にとって追い風と考えるが、中東情勢のインパクトが余りにも大きすぎるため、市場全体の消費マインドを喚起するには至らないとみている。
▲	住関連専門店 (インテリアコーディネーター)	・明るい見通しが立たない。
▲	その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (経営者)	・今年の夏も暑くなることが予想される。空調服の販売は好調と聞くが、まだ購入していない企業も多いとみており、今後の売上につなげたい。ただし、企業によっては貸与ではなく個人購入としており、その場合は量販店などで購入するため、当社の売上にはならない。また、夏物商材では空調服以外の売上がないことが課題である。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	・中東情勢の影響により、価格高騰や出荷制限が発生している。暖房用燃料の需要はほぼ終了する時期だが、出荷制限が続けば通年で使用する業種向けの販売量は減少する。
▲	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・中東情勢の影響により客の財布のひもがより固くなっている。飲食店街のリニューアルオープンを4月下旬に控え、集客の柱に据える計画である。
▲	一般レストラン (経営者)	・物価上昇により材料費が上がっており、利益が出ない。中東情勢の影響もあるため、この先は暇になるとみている。
▲	観光型ホテル (スタッフ)	・原油価格の動向次第とみている。

	▲	観光型ホテル（スタッフ）	・世界情勢の影響を受け、旅行需要は減少するとみている。
	▲	観光型旅館（経営者）	・中東情勢の影響による更なる物価上昇が懸念されるため、良くはない。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・最も多い台湾からのインバウンドの伸びが悪い。
	▲	旅行代理店（従業員）	・海外旅行は燃油サーチャージの値上がりにより減少が予想される。また、物価高による買い控えが生じる恐れもある。
	▲	タクシー運転手	・5月は花見をかねた会社の歓迎会の開催が多くなることが予想される。
	▲	通信会社（営業担当）	・ガソリン価格は緊急的激変緩和措置により一時的に下がったが、不安定な状態が続く。原油価格は今後も物価に大きな影響を与えるものとみている。
	▲	遊園地（経営者）	・原油価格の上昇が遠出や消費に影響を及ぼすおそれがあり、先行きは不透明である。
	▲	ゴルフ場（支配人）	・物価上昇に対して賃上げが追いついていないことから、レジャーへの消費意欲は後退するとみている。
	▲	美容室（経営者）	・物価上昇が急激すぎて利益を出すのが難しい状況である。
	▲	美容室（経営者）	・カット中の会話でも物価高や燃料費の高騰に対する不安の声が聞かれ、不安感から買い控えが進むことが懸念される。また、理美容界の仕入コストの上昇も懸念材料である。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・人手不足による売上減少が予想される。
	×	一般小売店〔茶〕（経営者）	・中東情勢の影響が今後ますます大きくなるとみている。早期に収束することを願う。
	×	スーパー（経営者）	・中東情勢の長期化により世界的な不況と物価上昇が進み、買い控えが強まるとみている。
	×	スーパー（業務担当）	・中東情勢の影響により景気は後退するとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・近隣に競合店が開店したことに加え、観光客の来店も伸び悩んでおり、今後は景気が悪くなるとみている。
	×	衣料品専門店（店長）	・物価高で入学金や転勤費用など生活に関する支出が増加しており、衣料まで手が回らないようである。収入と支出のバランスが取れるまでは若干苦戦するとみている。
	×	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、中東情勢により将来の不確実性が高まっているため、見積りを出しても決まらない。受注量の確保が厳しい状況になっている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・中東情勢の影響や物価高騰に加え、米価高騰の反動も懸念される。米価が下がらなければ米の在庫は動かないが、米価が暴落するか徐々に下がるかは見当がつかない。中東情勢の混乱も長期化の気配がある。悪化する要因しか見当たらない。
	×	一般レストラン（経営者）	・せり鍋の提供も今月で終わり、県外客の来店が減少するため、来客数、売上共に落ち込む。
	×	一般レストラン（経営者）	・景気が活性化する材料が出そう前に中東情勢の影響が出た。中東情勢が落ち着いたとしても、エネルギー関連のインフラ復旧には相当の時間が掛かる。様々な分野に多大な悪影響が及ぶことが予想されるため、当面は厳しい状況が続く、景気は悪くなるとみている。
	×	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・中東情勢の影響により生産性が低迷し、景気は悪くなる。今後は節約志向が一段と高まり、購買意欲は低迷するとみている。
企業動向 関連 (東北)	◎	建設業（従業員）	・時期が後倒しになったことで、年度初めに見込まれる受注契約が一定数ある。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・案件は少しずつ増えている感触がある。景気は良くなることが期待できる。
	○	通信業（営業担当）	・新年度予算が確定した企業からのクラウドやAIソリューションの導入に関する相談が増えており、景気は良くなる見込みである。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・春の観光シーズンとなり人の往来も増え、外食市場もにぎわいが増すとみている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・中東情勢の長期化による原油価格の高騰に伴い、売上の減少が予想される。

□	一般機械器具製造業（経営者）	・ AI のデータセンター向け需要の高まりで、半導体設備向けの見込みが増加している。反面、中東情勢による供給制限や価格高騰が景気上昇の妨げになる可能性がある。
□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 確定ではないが良い情報はある。注視していきたい。
□	建設業（従業員）	・ 4月以降、資材価格がどの程度値上がりするかで受注動向が大きく変わる。
□	建設業（従業員）	・ 人手不足のため、受注量をこれ以上増やすことができない。
□	建設業（従業員）	・ 中東情勢の影響に若干の不安はあるものの、受注が好調な今の状況が変わることはない。
□	通信業（営業担当）	・ 顧客の値下げ要請に対しては、サービス品質と価格の妥当性を理解してもらえよう努めていく。
□	広告代理店（経営者）	・ 周囲の状況から、広告投資を増やす決断は難しい状況にあるとみている。
□	その他企業 [企画業]（経営者）	・ 石油の民間備蓄放出によりガソリン価格と灯油価格は下がっているが、値上がり前の価格には戻っていない。国家備蓄も放出しているが先が見えない。
□	その他企業 [協同組合]（職員）	・ 地政学的リスクへの不安はあるが、政府による補助金等の物価対策の効果が一定程度期待でき、企業も自助努力をすることで景気が腰砕けする事態には至らないとみている。
▲	農林水産業（従業者）	・ 原油価格の上昇により、燃料だけでなく生産資材、肥料、薬剤等の価格も上昇することが予想される。
▲	食料品製造業（経営者）	・ 中東情勢の影響により工場で使用する重油の値上げが発生している。また、石油製品の包材、資材関係を扱う業者からは値上げ要請や供給を不安視する声が出ており、先行きは不透明である。
▲	食料品製造業（営業担当）	・ 物価高や原油価格の高騰により、嗜好品の消費減少が懸念される。
▲	食料品製造業（製造担当）	・ 安価志向の高まりにより、特に飲食費は抑えられる。一方で、原料や資材等の価格高騰が続き、収益を圧迫することが予想される。
▲	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 業界でも中東情勢による石油製品の価格上昇の影響が出ている。印刷関連メーカーからは、価格引上げや在庫ストックの要請など厳しい取引条件が示されている。
▲	金属製品製造業（経営者）	・ 新年度に向け受注予測が上向く時期だが、世界情勢の影響か見通しは悪い。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・ 不確実な要素が多いため、しばらくは停滞感が続くことが予想される。
▲	輸送業（経営者）	・ 先行きは不透明であり、中東情勢は生活や産業などあらゆる面に大きな影響を与える不安材料となっている。輸送業界にとって、燃料の価格上昇や高止まり、調達難は死活問題となる。
▲	金融業（広報担当）	・ 中東情勢の影響によりガソリン、重油、軽油の価格が急騰し、融資取引先の経営に大きな影響が出ている。運送業、温泉業を始め多くの業種に影響が広がっており、軽油は高騰に加え不足が発生しており、確保できずに廃業を選択するところも出ている。
▲	広告業協会（役員）	・ 中東情勢による先行きの不透明感が企業マインドを委縮させており、広告費の増加は見込めない。また、国内の物価対策は政策実行に時間が掛かるとみられることから、3か月後の広告業界の景気はやや悪くなると予想している。
▲	経営コンサルタント	・ 日本経済が安定するまでには相応の時間が掛かるとみられ、その間は消費停滞が避けられない。
▲	司法書士	・ 受託件数と地元登記所受付件数が共に前年同月比で下回っている。金利上昇と物価高により、このすう勢が続くとみている。
▲	公認会計士	・ 現在の円安による物価上昇、特にガソリン価格の高騰により全体として景気が減速するイメージがある。人手不足や原材料価格高騰の影響により、製造業、建設業の業績が悪化することで、小売業、サービス業は現状維持としても、全体としてはやや悪くなるとみている。
▲	コピーサービス業（従業員）	・ 政府の景気対策はあるものの、中東情勢の影響で原油価格が高騰しているため、景気はやや悪くなるとみている。

	×	農林水産業（従業者）	・販売価格の急な値上げは考えにくく、原油価格高騰に伴う資材費や人件費の上昇により利益が圧迫される可能性が高い。また、果物はし好品のため、物価が高くなると消費者の買い控えが懸念される。
	×	窯業・土石製品製造業（職員）	・新年度の需要想定も前年比減少となっており、明るい兆しが全くみえない状況である。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・取引先からの見込みが悪化している。
	×	輸送業（従業者）	・中東情勢の影響による物流網の混乱が予想される。
	×	不動産業（従業者）	・世界経済の影響により不動産に関わる物価が上昇しており、販売力を鈍くしている。
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(東北)	□	人材派遣会社（社員）	・求人数、求職者数共に前月、今月と前年比では改善傾向にあることから、4月以降も好転サイクルが続くと見込んでいるが、当面は様子見になる。
	□	職業安定所（職員）	・物価対策など新たな経済政策は打ち出されているものの、中東情勢の見通しが立たず、物価高騰への不安が大きい。
	□	職業安定所（職員）	・有効求人数は前年同期比で横ばいである。一方で、今後数か月にわたり、企業整備による人員削減の企業が複数ある。
	□	職業安定所（職員）	・窓口では小規模事業所や個人事業主からの求人票の提出が多く、人手不足感は継続している。業種別に増加と減少が混在し、分野ごとにばらつきはあるが、全体として求人の動きに大きな変化はないとみている。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・現在の物価高が続く限り、状況は変わらないとみている。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・当県でも中東情勢を不安視している企業が散見される。特に飲食業では、光熱費や原材料価格の高騰を懸念する経営者が増えている。
	▲	人材派遣会社（社員）	・中東情勢の動向次第である。このままエネルギー危機が長引けば、様々なところに悪影響が及ぶことは避けられない。
	▲	学校〔専門学校〕	・中東情勢による影響が多岐にわたり出てくることが予想される。
	×	アウトソーシング企業（経営者）	・中東情勢がいつまで続くのか不透明ななか、原油価格が高騰すればあらゆるコストが上昇するため、人件費を上げることができなくなる。景気は相当悪化するとみている。
	×	求人情報誌製作会社（経営者）	・商品やサービス、原材料価格の上昇が止まらないなか、体力のない企業が対応し切れず、廃業に至るケースが増えることが予想される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・中東情勢の影響が長期化することが予想され、空前の物価高に突入する懸念がある。